

資料 1

第30回FAPA学術大会（韓国）における会議等について

【2024年11月5日時点】

日程：2024年10月29日（火）～11月2日（土）

場所：COEX、ソウル（韓国）

●参加国数：25 参加者人数：1,692名

【日薬役員及び国内関係者の大会参加】

岩月進会長、豊見敦常務理事、安部好弘相談役、川田哲連盟幹事長

【非公開】

◆理事会 Bureau Meeting（非公開）

日程：10月29日（火）

参加対象者：FAPA関係者

◆理事会 Closed Council Meeting（非公開）

日程：10月29日（火）

参加対象者：FAPA関係者、加盟団体会長 ほか

日薬代表出席者 岩月会長、FAPA副会長 安部相談役、オブザーバー 豊見常務

◆FAPAプレコングレス（招待制）

日程：10月30日（水）

参加対象者：FAPA関係者、加盟団体会長、加盟団体関係者 ほか

◆FAPA加盟団体フォーラム（招待制）

日程：11月1日（金）

【全参加者対象】

◆開会式・表彰式 Opening Ceremony and FAPA Award

日程：10月31日（木）

開会式・表彰式（FAPA 生涯功労賞、優秀貢献者賞、石館賞の授与）

日本人受賞者：曲渕直喜氏（石館賞-Community Pharmacy Section）

◆公開理事会 Open Council Meeting

日程：11月2日（土）

◆閉会式・晩餐会 Closing Ceremony and Gala Dinner

日程：11月2日（土）

【その他、他団体との交流等】

◆大韓薬師会（KPA）との面談

日程：10月30日（水）

日本出席者：岩月会長、豊見常務、安部相談役、川田連盟幹事長、白成澤氏

◆FAPA会長との面談

日程：10月31日（木）

FAPA出席者：FAPA 会長ヨランダ・ロブレス博士、次期会長ユ・リ・チャン博士、前会長ジョセフ・ワン氏

日本出席者：岩月会長、豊見常務、安部相談役

【日薬 FAPA国際交流プログラム】

◆ポスター発表（電子ポスター会場に掲示）

発表者：丸田 勇樹 氏（茨城県；フロンティア薬局日立店）

演題：The effect of continuous follow-up by community pharmacists on medication adherence and health status in cancer patients receiving outpatient chemotherapy

◎次回以降の開催

日程：2026年11月3日～7日

開催地：バンコク、タイ

FAPA2024 SEOUL 報告

日程：2024年10月29日（火）～11月2日（土）

場所：COEX、ソウル（韓国）

【日薬役員及び国内関係者の大会参加】

岩月進会長、豊見敦常務理事、安部好弘相談役（FAPA 副会長）、川田哲連盟幹事長

◆理事会 Bureau Meeting（非公開）

日程：10月29日（火）

参加対象者：FAPA 関係者

◆理事会 Closed Council Meeting（非公開）

日程：10月29日（火）

参加対象者：FAPA 関係者、加盟団体会長 ほか

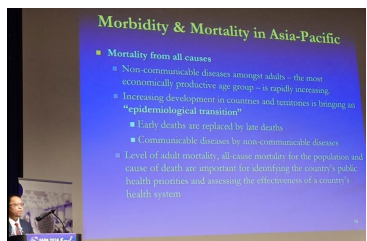
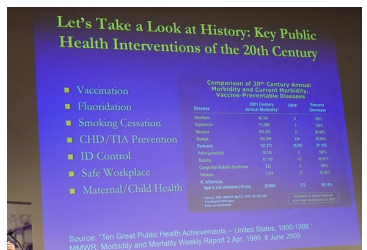
日薬代表出席者 岩月会長、FAPA 副会長 安部相談役、オブザーバー 豊見常務



会議では、参加者と新メンバーと役員の紹介が行われた。本大会では、「アジアにおける次世代の薬剤師」というテーマで開催されると KPA 会長挨拶があった。患者の安全、医薬品システムの強化、健康増進がとりあげられ、基調講演、全体会議、施設訪問が行われ、過去最多となる参加者が予想される。2025年のカウンスルミーティングがマニラで開催され、その後次回 FAPA 年会は「患者の安全性と個別化医療」に焦点を当てて 2026,11/3-7 タイのバンコクで開催される予定と紹介された。2023年の FAPA 台湾について開催国によるレポートがまとめられ FAPA に提出されている。今後の開催国の参考になるであろうとワン氏から紹介された。また、2028年の開催国入札が再開されたことが事務局から報告された。韓国からの提案により一般名処方、後発医薬品の推進、デジタルヘルスにおける薬剤師の役割りについて議論された。その後のカウンスルディナーでは 60 周年を記念してハンドベルが配布された。

◆FAPA プレコンGRESS（招待制）

日程：10月30日（水）



次期会長 Dr.ユ・リ・チャンにより FAPA の今後の展望についての講演が行われた。

現在の3つの優先課題として「患者の安全と安全な医療」「国民皆保険に向けた医薬システムの強化」「健康増進とウェルネス」があげられ、この後の講演が3つ目の健康増進とウェルネスに関するものであることが示された。このプログラムのもとで FAPA は専門職の公衆衛生へのシフトと、「治療の最適化」から予防的介入を含むサービスの拡大を目指しており、それにより医療制度の負担を軽減するとともに、社会全体のウェルビーイングをもたらすことができると説明された。この背景の元5つのプログラムを特定したとされ、1 薬袋システムを通じた患者の安全性とヘルスリテラシー促進、2 病院における無菌調製の実践の改善、3 将来の薬剤師に患者安全の文化醸成、4 ユニバーサルヘルスケアにおける薬剤師の役割の確立、5 健康促進とウェルネスに向けた薬学の再構築 について紹介された。

その後メリーランド大学 Dr. Hoai An Truong 教授が紹介され「公衆衛生薬剤師」の重要性、健康増進とウェルネスにおける薬剤師の役割についての講演が行われた。

講演の中では 20 世紀の主な公衆衛生対策（予防接種、禁煙、疾病管理）について概説され、健康教育と行動科学の重要性が示された。また薬剤師が自らを公衆衛生の専門家と自認し、他の医療専門家と協働する必要性について言及された。

その後アジア太平洋地域の健康状態、医療資源、医療費に関するデータを基に、心血管疾患、癌、外傷、妊産婦死亡率などの主な健康上の課題を挙げ健康増進とウェルネスへの取り組みを通じて、薬剤師がこれらの課題に取り組む機会があること、エビデンスに基づく戦略と多段階的な介入が重要であると説明した。

後半「公衆衛生と政策提言における薬剤師の役割」では米国における薬剤師の医療従事者としての認知を提唱した自身の経験をもとに、薬学生に対する公衆衛生教育の重要性と、薬剤師が公衆衛生について研修を受

A Case Example of Pharmacist Helping with Cost Avoidance for a Health Care System

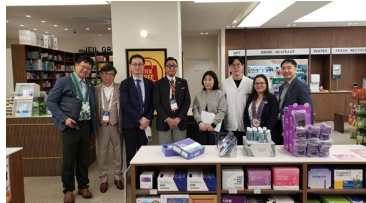
Table 1. Cost primarily avoided through identification and resolution of medication-related problems

Category	Medication-related problem	Medication-related problem resolved	Cost avoided (USD)
Adherence	Medication not taken as prescribed	Medication taken as prescribed	100-200
Drug-drug interactions	Concomitant drug therapy not reviewed	Concomitant drug therapy reviewed	100-200
Drug-disease interactions	Drug therapy not reviewed for disease	Drug therapy reviewed for disease	100-200
Drug-dose interactions	Drug therapy not reviewed for dose	Drug therapy reviewed for dose	100-200
Drug-indication interactions	Drug therapy not reviewed for indication	Drug therapy reviewed for indication	100-200
Drug-quality interactions	Drug therapy not reviewed for quality	Drug therapy reviewed for quality	100-200
Drug-allergy interactions	Drug therapy not reviewed for allergy	Drug therapy reviewed for allergy	100-200
Drug-patient interactions	Drug therapy not reviewed for patient	Drug therapy reviewed for patient	100-200
Drug-practice interactions	Drug therapy not reviewed for practice	Drug therapy reviewed for practice	100-200
Drug-system interactions	Drug therapy not reviewed for system	Drug therapy reviewed for system	100-200
Total			100-200

Table 2. Problems and cost avoided through identification and resolution of medication-related problems

Medication-related problem	Prevalence (% of total)	Cost saved (USD)	Range of cost saved (USD)
Adherence	100%	100-200	100-200
Drug-drug interactions	100%	100-200	100-200
Drug-disease interactions	100%	100-200	100-200
Drug-dose interactions	100%	100-200	100-200
Drug-indication interactions	100%	100-200	100-200
Drug-quality interactions	100%	100-200	100-200
Drug-allergy interactions	100%	100-200	100-200
Drug-patient interactions	100%	100-200	100-200
Drug-practice interactions	100%	100-200	100-200
Drug-system interactions	100%	100-200	100-200
Total		100-200	100-200

Source: Tsang H, Gao S, Cui S, et al. Estimation of Potential Cost Savings and Potential Cost Avoidance from Medication-Related Management System in a Community Pharmacy. *Pharmacy*. 2015.



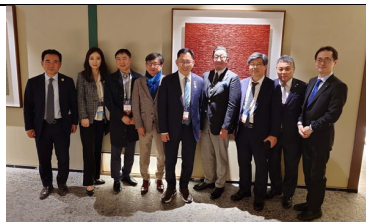
ける必要性に言及された。また薬剤師が薬物関連の事故を防止し、予防接種サービスを提供することの重要性についても指摘された。公衆衛生における薬剤師の役割を支援するための政策変更を提唱する必要性を述べられ、薬剤師のサービスによる薬物関連の問題の予防に関する経済効果を示し、これらの成果を文書化し公表することの重要性を説明した。持続可能性と効果の確保にむけて、薬剤師のサービスに対して報酬が支払われる必要性を訴えられた。

その後施設見学が開催され市内の薬局を訪問し見学した。

◆大韓薬師会（KPA）との面談

日程：10月30日（水）

日本出席者：岩月会長、豊見常務、安部相談役、川田連盟幹事長、白成澤氏



ユニスマイル白成澤氏の協力の元 KPA 役員との会談が行われ、2 国間の様々な課題についての情報共有が行われた。

◆開会式・表彰式 Opening Ceremony and FAPA Award

日程：10月31日（木）



開会式では各国から1名伝統衣装での登壇が求められたため、豊見が登壇した。石館賞の薬局部門を曲渕直喜氏が受賞した。

◆FAPA 会長との面談

日程：10月31日（木）

FAPA 出席者：FAPA 会長ヨランダ・ロブレス博士、次期会長ユ・リ・チャン博士、前会長ジョセフ・ワン氏

日本出席者：岩月会長、豊見常務、安部相談役